

北名古屋市市民協働推進事業補助金採択事業自己評価シート

事業名 ママライフエキスポ

団体名 ママライフデザイン研究所

項 目	着目点	自己評価	自己評価コメント
公益性 公共性	・事業の紹介を積極的に行い、市民に開かれた事業でしたか	◎	4 月よりほぼ毎日ブログ・SNSにより発信、メディアへのプレスリリース・北名古屋市広報への掲載協力を依頼。ポストカード・ポスター・パンフレットを幼稚園・保育園・児童館・駅前・市内外店舗約 81 か所への設置協力を頂いた。
	・事業を実施することにより、不特定多数の市民の利益増進につながりましたか	○	約 70 の出展者の利益につながり、地域内での認知度向上に繋がった。また、来場者にとっては市内店舗などを一堂に見て巡ることができ、まちの魅力を再発見する機会となった。
	・事業を通じて市民の理解や参加、協力が得られましたか	○	120 名ほどの出展やママ世代のみならず、幅広い年齢の方にボランティアなどの方が関わって下さり、また 1,000 名近い来場があったことは事業を理解いただけた結果だと思います。
実現性 計画性	・当初の事業計画、予算計画は適切でしたか	△	運営はほぼ計画に準じて実施されたが、予算計画が当初よりかかりすぎていた部分があり、自己負担金が大きくなってしまった。
	・事業を確実に実施するために適切な体制でしたか	△	メンバー 7 名を主体に計画。前当日もボランティアさんに協力いただくと、年イベント規模が拡大し予想を上回る来場者であったため、対応しきれない適切な体制とはいえなかった。
先駆性 協働性	・新たな成果や仕組みを生み出すなどの波及効果がありましたか	○	3 回目の開催でしたが、地域に住む子育て中のママ達への認知度も高まる中、北名古屋手みやげ博を同時開催できたことは、地域の魅力を再発見すると共に、来場アンケートでは提供品や商品券を提供頂いたことで、当日だけでなく終了後の来店に繋がったとの声を頂いた。
	・他団体とうまく協働し、事業を進めることができましたか	○	地域で長年活動されている「託児グループめばえ」さん「ほたるを育てる会」さん児童館管理のNPO法人さんや手みやげ博企画NPO法人フィールザワールドさん駐車場管理をシルバー人材センターの方のお力を借りて進めることができました。
	・行政や団体が単独で行うより、効果をあげることができましたか	○	北名古屋及び近郊の魅力的な出展者さんを集い、パンフレットから会場づくりまで統一感あるイベントづくりを総合的に創り上げることが来場動機につながっている。
継続性 自立性	・事業を継続するための計画、工夫、協力体制ができていますか	△	ボランティアさんを募集したり、事業継続への相談を様々な機関や他団体さんへ相談している。
	・自己資金の確保に努めていますか	○	主な資金としては協賛金と出展料で確保に努めている。営業活動を 1 年にわたりコツコツと続け、協賛のご協力をお願いしている。また広報活動を通じて出展者さんが多く集まって下さるように努めている。

事業効果 有効性	・費用対効果を考え、経費削減などの工夫をしましたか	○	廃棄される壁紙を再利用した会場装飾やコストを抑えて自ら制作したり、100 円ショップ物を活用して経費削減に努めた。
	・当初の目標、目的どおりの成果が得られましたか	○	ママ同士のみならず、個人・店舗・企業様での交流が生まれていたことと、アンケートより地域で子育て中のリフレッシュとなる機会や繋がりが生まれたことを喜ばれる声を多くいただき必要とされている事業であると実感しました。

自己評価：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全然できなかった ーわからない 又は該当しない